

北陸地方建設事業推進協議会

平成27年度

「建設技術報告会」

実施報告書

平成28年1月

北陸地方建設事業推進協議会

「建設技術報告会」実行委員会

目次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	3
5) 報告技術のテーマ	3
6) 主催構成機関及び実行委員会構成員	4
7) 聴講者数及び聴講者数の推移	5
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 基調講演	6
3) 技術報告	6
4) 技術パネル等展示コーナー	8
5) NETIS 等パンフレット紹介コーナー	9
6) CPD/CPDS 認証プログラム	10
7) 閉会式	11
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	12
2) 主な経緯	12
3) 運営体制	13
4) 会場設営	14
4. 広報	
1) 広報活動	17
2) 広報等掲載一覧	17
5. アンケート	
1) 設問内容	21
2) 配布・回収	21
3) アンケート結果概要	22
4) 設問別集計結果	24

1. 開催概要

1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催されました。

本報告会は、平成7年度から開催され、今回で20回目の開催となりました。

2) 開催日時

■平成27年11月18日(水) 9時30分～16時30分

●受付
9時00分～ 2階ロビー〔ホワイエ〕

●開会式
9時30分～ 9時40分 第1会場〔スノーホールB〕
開会挨拶 北陸地方整備局 企画部長 小口 浩

●基調講演
9時40分～10時40分 第1会場〔スノーホールB〕
演題 防災技術への期待～環日本海防災拠点構想～
講演者 新潟大学 危機管理本部 危機管理室
教授 田村 圭子 氏

●技術報告(分科会方式)
10時50分～16時10分
第1会場〔スノーホールB〕
第2会場〔中会議室201〕

●閉会式
16時20分～16時30分 第1会場〔スノーホールB〕
総評、閉会挨拶 平成27年度「建設技術報告会」実行委員長 佐藤 正之
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

閉会式終了後の16時40分からスノーホール前 ホワイエ で「CPD/CPDS」の受講証明書の発行を行いました。

3) 開催場所

■会場施設
朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
住所: 〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号
TEL: Tel (代) 025-246-8400
URL: <http://www.tokimesse.com/>

■交通アクセス

◆新潟駅から

- ・万代口から路線バスで約15分

新潟駅万代口バスターミナル3番線乗り場より「佐渡汽船行き」に乗車、「朱鷺メッセ」バス停下車

- ・タクシー約5分
- ・徒歩約20分

◆自動車利用：

日本海東北自動車道：新潟亀田ICより約20分

北陸自動車道：新潟西ICより約30分

磐越自動車道：新潟中央ICより約30分

◆新潟空港利用：

新潟空港よりタクシーで約20分

リムジンバスで新潟駅まで約25分

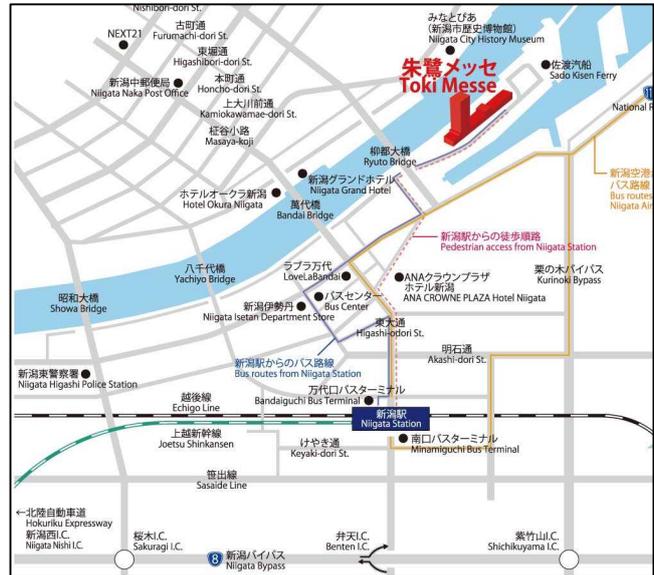
《駐車場》

万代島駐車場（A～E）：

普通車 約1,850台

駐車料金 最初の1時間無料、以後30分ごとに100円。

1日（入場から24時間）当たり最大1,500円



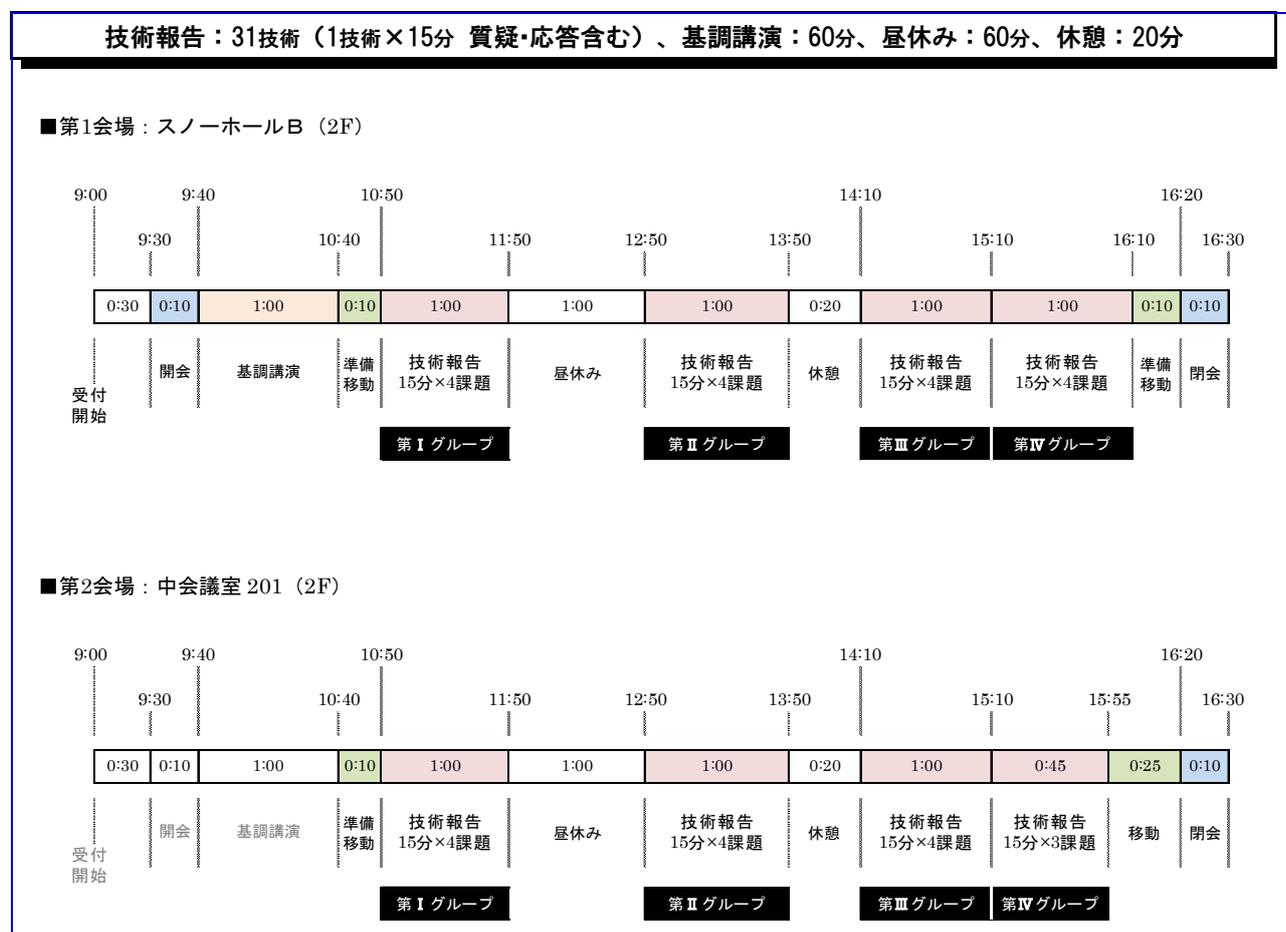
■使用会場

- | | | |
|--------------------------|-------|------------------------------------|
| ●スノーホールB | 施設 2階 | 第1会場：開会式・基調講演・技術報告・閉会式
聴講席：405席 |
| ●中会議室201 | 施設 2階 | 第2会場：基調講演放映・技術報告
聴講席：216席 |
| ●中会議室201前
ホワイエ | 施設 2階 | 技術パネル等展示コーナー
パンフレット紹介コーナー |
| ●小会議室
202・203・
204 | 施設 2階 | 講師・来賓・事務局・運営スタッフ控室 |

4) 構成と報告時間

基調講演と技術報告の2部構成とし、技術報告は2会場の分科会方式とした。

報告時間は「発表者入替」「プレゼンター立ち上げ」「質疑応答」を含めて1技術15分とし、1技術の報告終了毎に概ね3分間の質疑・応答時間を設けた。



5) 報告技術のテーマ

「社会資本の的確な維持管理・更新」の新たなテーマを含め、6テーマの分類により、合計31技術の技術報告を行った。テーマ別報告技術数は以下のとおりである。

- ① 社会資本の的確な維持管理・更新 14題
(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)
- ② 雪に強い地域づくり 5題
(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)
- ③ 良いものを安く 4題
(生産性向上、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術 等)
- ④ 自然災害からの安全確保 1題
(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)
- ⑤ 環境の保全と創造 3題
(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)
- ⑥ その他 4題
(その他①～⑤に属さない新技術 等)

6) 主催構成機関及び実行委員会構成員

■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 平成27年度「建設技術報告会」実行委員会』である。
以下に実行委員会の構成機関（23機関）を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／
中日本高速道路(株)金沢支社／(一社)日本建設業連合会北陸支部／
(一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／
(一社)石川県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／北陸土木コンクリート製品技術協会／
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／
(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／
(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

■実行委員会構成員

役員	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査員
委員	富山県 土木部 建設技術企画課	技術指導係長	
委員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課長補佐	
委員	新潟市 都市政策部技術管理センター 技術管理課	課長	
委員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委員	中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委員	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)富山県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	広報部会長	
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(一財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(一社)北陸地域づくり協会 技術部	技術部長	
委員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

7) 聴講者数及び聴講者数の推移

■聴講者数

聴講募集を9月3日から10月30日まで行ったが、目標に達しなかったため11月13日まで延長し追加募集を実施した結果、524名の聴講者が参加した。本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【平成27年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

機関・団体名		申込	実績
官公庁	国交省、大学、高専、新潟県、新潟市、市町村他	90	77
民間		469	410
発表者(官公庁)		6	6
発表者(民間)		25	25
報道		0	6
合計		590	524

■聴講者数の推移

【過去5年の聴講者数内訳】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
開催地	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
国交省	67	65	60	70	50
自治体	24	100	93	77	33
民間(協会等)	411	336	418	293	441
計	502	501	571	440	524

【「建設技術報告会」聴講者数(第1回～第20回)】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34
民間(協会等)	189	373	430	209	364	401	471	354	360	319
学校						3		35	7	
合計	267	643	658	432	533	579	630	511	478	458
	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
	45	47	33	47	43	67	65	60	70	50
	18	29	24	23	49	24	100	93	77	33
	278	302	404	343	459	411	336	418	293	441
	341	378	461	413	551	502	501	571	440	524

2. 実施内容

1) 開会式

時 間：9時30分～9時40分
会 場：第1会場〔スノーホールB〕
開会挨拶：北陸地方整備局 企画部長 小口 浩
司 会：北陸技術事務所 副所長 堤 雄生



2) 基調講演

時 間：9時40分～10時40分
会 場：第1会場〔スノーホールB〕
演 題：防災技術への期待～環日本海防災拠点構想～
講 演 者：新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授 田村 圭子 氏
司 会：北陸技術事務所 副所長 堤 雄生



新潟大学 田村教授



基調講演聴講状況

3) 技術報告

時 間：10時50分～16時10分（第2会場は15時55分）
会 場：第1会場〔スノーホールB〕 16技術
第2会場〔中会議室201〕 15技術
司 会：第1会場 （一社）日本建設業連合会 北陸支部（鹿島建設株） 柳沼 剛
北陸地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐 小泉 倫彦
第2会場 （一社）日本道路建設業協会 北陸支部（日本道路株） 宮崎 清隆
北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 今井 茂



第1会場 技術報告の状況



第2会場 技術報告の状況



第1会場 司会進行状況



第2会場 司会進行状況

・報告技術の募集を5月29日から7月15日まで行ったが、申込み数が21課題と予定数に達しなかったため、7月29日まで追加募集を行い31課題の技術報告を実施した。

【報告技術一覧表】

(第1会場)

テーマ番号	技術名	会社(機関)名
①	橋梁長寿命化のための桁洗浄	新潟県 土木部
①	アルミ合金製常設作業パネル『cusa(キュウサ)』の開発	株式会社横河ブリッジホールディングス 総合技術研究所
①	FRPを用いた歩道床版拡幅工法の耐荷重性能に関する実験的研究	宮地エンジニアリング株式会社 橋梁営業部
①	ユニバーサルデザインに基づく「バリアフリーバス停」の提案	日本道路株式会社
②	新型除雪トラックの開発	国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所
②	GPSを利用した雪氷車両の半自動操作システム	東日本高速道路株式会社 新潟支社
②	凍結防止剤の滞留による効果持続を期待した型押し式すべり止め舗装	株式会社NIPPO 北信越支店
②	粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装「アイストツパー」	大林道路株式会社 技術研究所
②	消雪井戸リユース地中熱ヒートポンプシステムによるスポット融雪	株式会社興和 技術開発室
⑤	自然由来ヒ素汚染土壌の分離浄化工法	前田建設工業株式会社 土木事業本部
③	TT-Monitor による切羽前方地山予測	大成建設株式会社 技術センター 土木技術研究所
③	リップ付きアーチフォームを用いたRC床版	川田工業株式会社 北陸事業部
③	北陸地方整備局における「CIM」の取組み	国土交通省 北陸地方整備局 企画部
③	巨礫混じり地盤に対するシールドマンシンの選定と掘進実績	鹿島建設株式会社 北陸支店
⑥	新しい斜め土留め方式(斜め控え壁式鋼矢板方式)の開発と現場への展開	株式会社大林組 北陸支店
⑥	Made in 新潟 新技術普及・活用制度の概要	新潟県 土木部

テーマ 番号	技術名	会社(機関)名
④	斜め・水平施工を可能とする機械攪拌系地盤改良工法の開発 WinBLADE 工法	日特建設株式会社 技術本部
⑥	水門等遠隔監視制御システムの整備について	株式会社興和 水工部
⑥	ケーソン据付の安全性・施工性向上技術	株式会社本間組 土木事業本部
⑤	底泥分級浄化工法	あおみ建設株式会社 土木本部
⑤	環境共生に配慮した消波ブロック「テラネオ」	株式会社不動テトラ 北陸支店
①	水中浮体式波浪観測装置の更新について	国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
①	曲がり削孔式浸透固化処理工法による供用中の滑走路の液状化対策	五洋建設株式会社
①	劣化損傷した既設栈橋の鋼管杭と上部工の接合部の巻き立て補強技術「タフリードPJ工法」の開発	東亜建設工業株式会社 技術研究開発センター
①	UAV(無人航空機)を用いた空中写真測量技術の適用性について	国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
①	THS工法(既設集水井の更生)	株式会社笠原建設 機材部
①	塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進工法『ベル工法』	真柄建設株式会社 土木事業本部
①	分粒装置付きロードスタビライザの施工事例	鹿島道路株式会社 機械部
①	塩分分析におけるJNLA試験事業者登録の紹介	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 金沢支店
①	空中放射音波による遠距離非接触非破壊検査技術/NCAL 法	佐藤工業株式会社 技術研究所
①	HIVIDAS(ヒビダス)の開発	清水建設株式会社 土木技術本部

① 社会資本の的確な維持管理・更新 (14題)	② 雪に強い地域づくり (5題)
③ 安いものを安く (4題)	④ 自然災害からの安全確保 (1題)
⑤ 環境の保全と創造 (3題)	⑥ その他 (4題)

4) 技術パネル等展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、展示希望を募り33社の新技術パネル展示を実施した。パネルの前面に当該技術のパンフレットを配置し配布を行った。

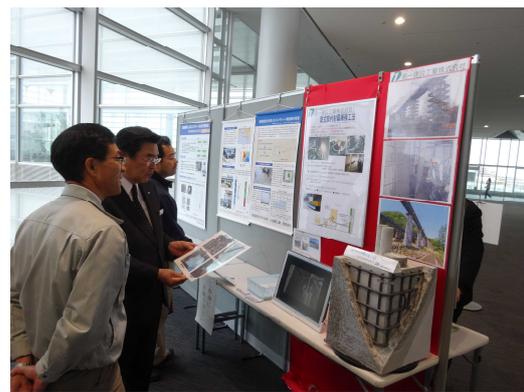
時 間：9時00分～16時00分

会 場：第2会場〔中会議室201〕前ホワイエ

【技術パネル等展示一覧表】

ブース 番号	出展技術	出展者	区分
①	北陸地方整備局は雪国の暮らしを守ります	北陸地方整備局	道路
②	「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」の概要	新潟県	共通
③	シールドトンネル	鹿島建設(株)	共通
④	乾式吹付耐震補強工法	第一建設工業(株)	共通
⑤	空中放射音波による遠距離非破壊検査法	佐藤工業(株)	共通
⑥	HIVIDAS(ヒビダス)	清水建設(株)	共通
⑦	ストーンセパレータ工法	鹿島道路(株)	共通
⑧	MG 敷均・転圧管理システム【Geo-CIS】	(株)シーティーエス	共通
⑨	パフェグラウト工法	日特建設(株)	共通
⑩	KS-S・MIX(大口径相対攪拌深層混合処理)工法	あおみ建設(株)	共通

⑪	CPGガイドアーク工法	みらい建設工業(株)	共通
⑫	塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進工法『ベル工法』	真柄建設(株)	共通
⑬	老朽化した鋼矢板水路の補修・補強工法『スパネ工法』	(株)水倉組	河川
⑭	THS工法	(株)笠原建設	砂防
⑮	タフロードPJ 工法	東亜建設工業(株)	港湾
⑯	曲がり削孔式浸透固化処理工法	五洋建設(株)	港湾
⑰	テトラネオ	(株)不動テトラ	港湾
⑱	ケーソン据付の安全性・施工性向上技術	(株)本間組	港湾
⑲	TT-Monitor による切羽前方地山予測	大成建設(株)	道路
⑳	コンクリート充填ウォッチャー	(株)フジタ	道路
㉑	フル・ファンクション・ベープ（縦溝粗面型ハイブリッド舗装）	(株)ガイアートTK	道路
㉒	グリップサーフ(型押し式すべり止め舗装)	(株)NIPPO	道路
㉓	グレーチングストッパー	丸運建設(株)	道路
㉔	ゴムパウダ型凍結抑制舗装	(株)佐藤渡辺	道路
㉕	凍結抑制舗装・ザペック工法タイプG	世紀東急工業(株)	道路
㉖	アイストッパー	大林道路(株)	道路
㉗	CAMシールNEO	東亜道路工業(株)	道路
㉘	ファインシート工法	福田道路(株)	道路
㉙	KVS ストレーナ	(株)興和	道路
㉚	パイプ型落橋防止システム	東綱橋梁(株)	道路
㉛	アルミ合金製常設作業パネル『cusa(キュウサ)』	(株)横河ブリッジ	道路
㉜	リップ付きアーチフォームを用いたRC床版	川田工業(株)	道路
㉝	FRP歩道拡幅床版	宮地エンジニアリング(株)	道路



技術パネル等展示コーナー

5) NETIS 等パンフレット紹介コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、下記の国、自治体による新技術登録制度に登録された技術を対象として、配布希望を募り24技術のパンフレット配布を行った。

- ・国土交通省：「新技術情報提供システム（NETIS）」
- ・新潟県：「Made in 新潟 新技術普及活用制度」
- ・石川県：「石川県 建設新技術認定・活用制度」

時 間：9時00分～16時00分
 会 場：第2会場〔中会議室201〕前ホワイエ

【NETIS等パンフレット一覧表】

ブース 番号	出展技術	出展者	区分
①	乾式吹付耐震補強工法	第一建設工業(株)	共通
②	トンネル覆工はく落防止技術/T-FREG	佐藤工業(株)	共通
③	コンクリート充填ウオッチャー	(株)フジタ	道路
④	HIVIDAS(ヒビダス)	清水建設(株)	共通
⑤	延長床版システムプレキャスト工法	(株)ガイアートTK	道路
⑥	フル・ファンクション・ベープ(縦溝粗面型ハイブリッド舗装)	(株)ガイアートTK	道路
⑦	アイストッパー	大林道路(株)	道路
⑧	ニューカラーコート・E、P、F、C	東亜道路工業(株)	道路
⑨	じょく層工法	東亜道路工業(株)	道路
⑩	MG敷均・転圧管理システム【Geo-CIS】	(株)シーティーエス	共通
⑪	老朽化した鋼矢板水路の補修・補強工法『ストパネ工法』	(株)水倉組	河川
⑫	消雪パイプ用節水タイマー	(株)興和	道路
⑬	パフェグラウト工法	日特建設(株)	共通
⑭	CPG工法	みらい建設工業(株)	共通
⑮	曲がり削孔式浸透固化処理工法	五洋建設(株)	港湾
⑯	テトラネオ	(株)不動テトラ	港湾
⑰	ペルメックス	(株)不動テトラ	港湾
⑱	ドロスII型	(株)不動テトラ	港湾
⑲	SAVE-SP工法	(株)不動テトラ	共通
⑳	SAVE-CP工法	(株)不動テトラ	共通
㉑	CI-CMC工法	(株)不動テトラ	共通
㉒	FTJ工法	(株)不動テトラ	共通
㉓	HONMA函体据付システム	(株)本間組	港湾
㉔	アルミ合金製常設作業パネル『cusa(キュウサ)』	(株)横河ブリッジ	道路

6) CPD/CPDS認証プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に、平成20年度より建設系CPD協議会による「CPD(継続教育)5単位」プログラム及び社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS(継続学習制度)3ユニット」の認定講習の登録を行い、266名に受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の51%(266/524)、民間聴講者の60%(265/441)であった。

■受講受付

時 間：9時00分～9時40分
 場 所：2階ロビー〔ホワイエ〕
 聴講受付—受講証明書引換券配付

■受講証明発行

時 間：16時30分～17時00分
 場 所：2階ロビー〔ホワイエ〕
 CPD/CPDS 受付—引換券により受講証明書発行

建設系CPD協議会によるCPD（継続教育）
受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会
平成27年度「建設技術報告会」

受講証明書 引換券
CPD（継続教育）

受講証明書発行 閉会式終了後（16時30分～17時00分）
平成27年度「建設技術報告会」実行委員会

【一社】全国土木施工管理技士会連合会のCPDS（継続学習制度）
受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会
平成27年度「建設技術報告会」

受講証明書 引換券
CPDS（継続学習制度）

受講証明書発行 閉会式終了後（16時30分～17時00分）
平成27年度「建設技術報告会」実行委員会

CPD 受講証明書 引換券

CPDS 受講証明書 引換券

建設系CPD協議会加盟団体主催CPD申請書・受講証明書

建設系CPD協議会加盟団体の主催する講習会の記録簿を、建設工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会のいずれかにCPD申請する場合は、以下の内容を記入して、プログラム主催主催者の受講証明印をもちらした上で団体事務局まで送付（FAX）してCPD申請を行ってください。

項目名	申請内容
申請日	年 月 日
申請者名	
申込団体	
所属	
会社名称	
TEL	
FAX	
所属団体（学）名	
受講番号	
開催日	平成27年11月18日
CPDプログラム名称	平成27年度「建設技術報告会」
CPDプログラム番号	010プログラム番号：20150904004
主催者	平成27年度「建設技術報告会」実行委員会
開始～終了時間	16時30分～17時00分
CPD単位	3単位
開催地	新潟県新潟市中央区代島1番1号 本郷ビル（新潟コンベンションセンター）

【CPプログラム主催者の方へお願い】
プログラム名、開催日、受講者氏名をご記載の上、証明印をご記入して証明印をお願ひいたします。

お問合わせ先 北陸地方建設事業推進協議会
〒951-8501 石川県金沢市東区南町1-1-1
平成27年度「建設技術報告会」実行委員会

※CPD記録申請にあたって本受講証明が必要となる団体
建設工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会

No. 1

受講証明書

受講者名 又は 通称	1		
プログラム名称	平成27年度建設技術報告会【移動コード101】		
プログラム番号	327852	ユニット数	3 unit
講習日・時間	2015年11月18日 9:30～16:30		
講習会場	【新潟県】本郷ビル（新潟コンベンションセンター）		

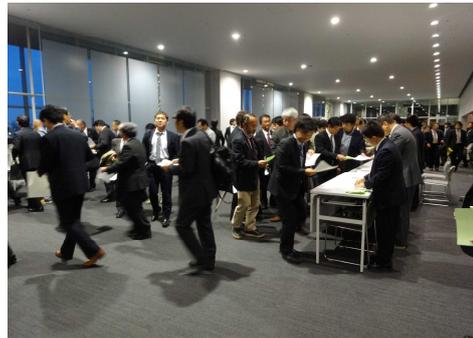
上記の書について、講習会を受講したことを証明します。
平成27年11月18日
主催：北陸地方建設事業推進協議会
平成27年度「建設技術報告会」実行委員会

CPD 受講証明書

CPDS 受講証明書



受講証明書引換券配布状況



受講証明書発行状況

7) 閉会式

時間：16時20分～16時30分

会場：第1会場（スノーホールB）

総評・閉会挨拶：

「建設技術報告会」実行委員長 佐藤 正之
（北陸地方整備局 北陸技術事務所長）

司会：北陸技術事務所 副所長 堤 雄生



3. 準備及び運営・設営

1) スケジュール

平成27年度「建設技術報告会」の運営は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 「平成27年度 建設技術報告会」運営スケジュール記録

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年1月	備考	
実行委員会等														
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会		● 2/16(月)												
実行委員会開催(会議資料作成等)				● 5/28(木)								● 1/20(水)		
協議・決定事項等				・規約、実施計画、予算の協議・承認										
報告技術募集及び原稿作成等														
各案内用チラシ原稿作成														
ホームページ開設・運営														
報告技術募集・取りまとめ(主催機関)														
技術パネル展示募集・取りまとめ(主催機関)														
NETIS等への紹介募集・取りまとめ(主催機関)														
報告技術検討・選定(事務局)														
採否通知送付(事務局)														
報告論文原稿、概要版作成・提出(報告技術発表者)														
プレゼンデータ作成・提出(報告技術発表者)														
聴講募集(主催機関等)														
報告論文集(PDF)作成(HP掲載)														
その他														
基調講演者依頼・報道投込み														
CPD/CPDSプログラム登録申請														
発表者等申込み者への連絡等														
会場設営・準備														
報告会開催														

2) 主な経緯

会議名等	実施日時	会場	内容
平成27年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成27年2月16日(月)	北陸地方整備局 4階 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
平成27年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	平成27年5月28日(木) 14時00分～15時10分	新潟国道事務所 B棟会議室	規約(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認
平成27年度「建設技術報告会」開催	平成27年11月18日(水) 9時00分～16時30分	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター) 2階スノーホールB他	報告会開催
平成27年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	平成28年1月20日(水) 13時30分～15時00分	北陸地方整備局 新潟国道事務所 B棟大会議室	実施結果報告 収支報告 次回開催について

3) 運営体制

報告会当日は、主催構成機関・団体からの運営スタッフ及び会場施設スタッフの27名（官：11名、民：16名）の協力により実施した。

・機関・団体別 スタッフ人数

国土交通省 北陸地方整備局				主催 協力機関・団体									合計
企画部 施工企画 課	港湾空港部 海洋環境・ 技術課	北陸 技術	小計	新潟 県	新潟 市	新潟 建協	日建 連	道建 協	機械 協	建コ ン協	埋浚 協	小計	
3	4	4	11	4	2	2	2	2	1	1	2	16	27

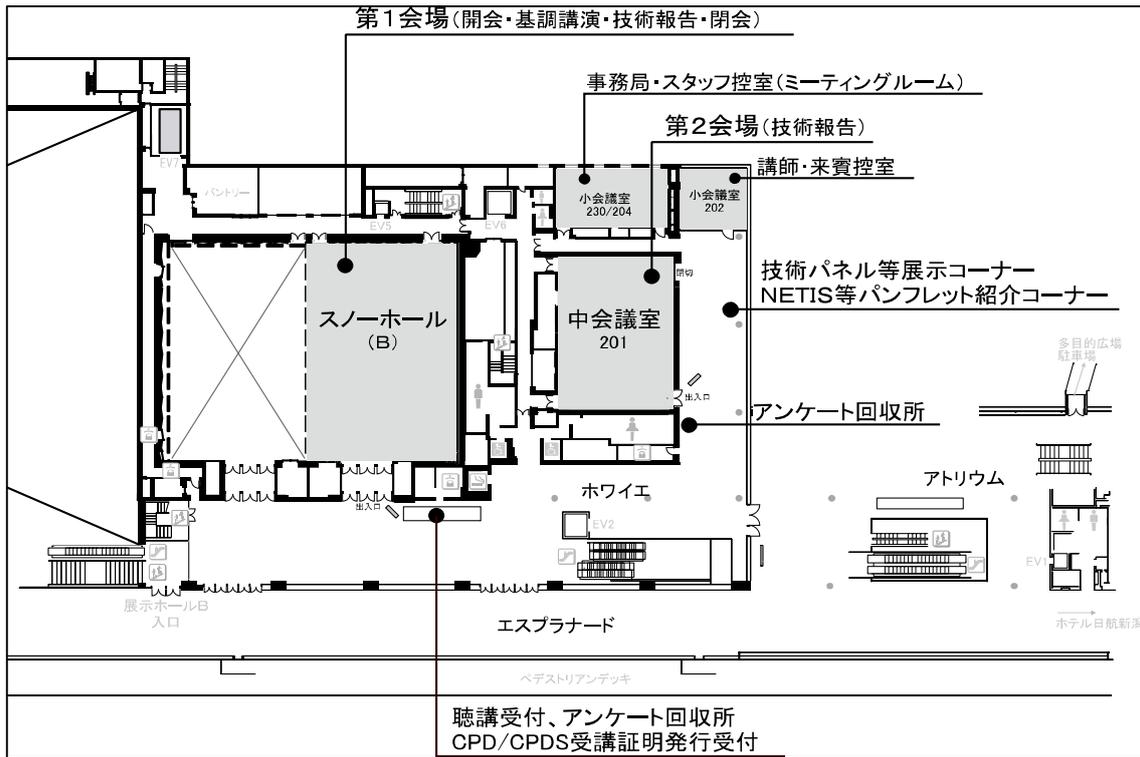
【運営体制表】

担当・対応時間・会場等	運営 人員	①北陸地方整備局 11人										②新潟県 4人										③新潟市 2人										④新潟建設業協会 2人										⑤日本建設連合会 2人										⑥道路建設業協会 2人										⑦建設機械施工協会 2人										⑧埋立家業協会 2人										⑨建設コンサルタンツ協会 1人												
受 付 係	聴講受付	9:00-16:30	受付開始一 期会終了 (後日)	2											畑山 武志										岡村 幸弘																																																																					
		9:00-10:40	受付開始一 期会終了	9											児玉 俊紀 小野 秀晃										淡川 雅典 金子 安良										大関 真										齋藤 紀久子										今井 愛子										坪内 昭雄										芳野 夏補																			
	16:30-17:00	期会終了一 最終	(6)	(小泉 倫彦) (今井 茂) (秋瀬 宏至) (森内 政弘) (寺田 篤史) (柿崎 慶治)																																																																																										
技 術 報 告 係	司会係	10:50-13:50 (I-II)	第1会場	2	小泉 倫彦																														柳原 剛																																																											
		14:10-16:10 (III-IV)	第2会場	2	今井 茂																														宮崎 清隆																																																											
	時間管理係	10:50-13:50 (I-II)	第1会場	(1)																																																																																										
		14:10-16:10 (III-IV)	第2会場	(1)											(児玉 俊紀)																																																																															
		10:50-13:50 (I-II)	第1会場	(1)																																																																																										
	会場照明/ パワコン係	8:35-16:10	第1会場	1																																																																							多田 徹																			
		8:35-15:55	第2会場	1																																																																							窪田 利晴																			
	マイク受講係	10:50-16:10	第1会場	(3)																																																																							宮村 兵衛										芳野 夏補									
		10:50-15:55	第2会場	(2)																																																																																										
	写真係	8:35-16:30	全体 (開閉会・講 演(パネル展 示物))		2											渡邊 佳生																																																																														
第1会場																																																																																														
第2会場			(2)											(渡邊 佳生)																																																																																
事 務 局	総合司会	9:20-10:40	開会式 基調講演	1	堀 雄生																																																																																									
		16:20-16:30	閉会式	1																																																																																										
	来賓対応	9:00-11:00	第1会場 講師 来賓控室	1											樋口 昌伸																																																																															
		9:00-11:00	第1会場 講師 来賓控室	1											齋木 友里絵																																																																															
	マウス対応 (CPD/CPDS 受付と兼務)	11:05-16:30	受付常駐		(4)																																																																																									
		10:50-16:10																																																																																												
		9:00-13:50																																																																																												
	連絡調整係 (パネル運営)	終日	会場全体	2	古川 真実																																																																																									
		終日	第1会場(配 親入)・会場運 営	4	中村 学																																																																																									
	運営設備係	終日				秋瀬 宏至																																																																																								
					森内 政弘																																																																																									
					寺田 篤史																																																																																									
					柿崎 慶治																																																																																									

4) 会場設営

■フロアマップ

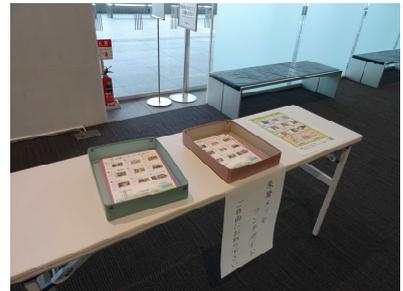
使用会場の位置を示す。



①開催案内



②会場サイン



③ランチガイド配布状況



④第2会場基調講演放映機材



⑤アンケート回収箱



⑥スタッフミーティング



⑦聴講者受付状況



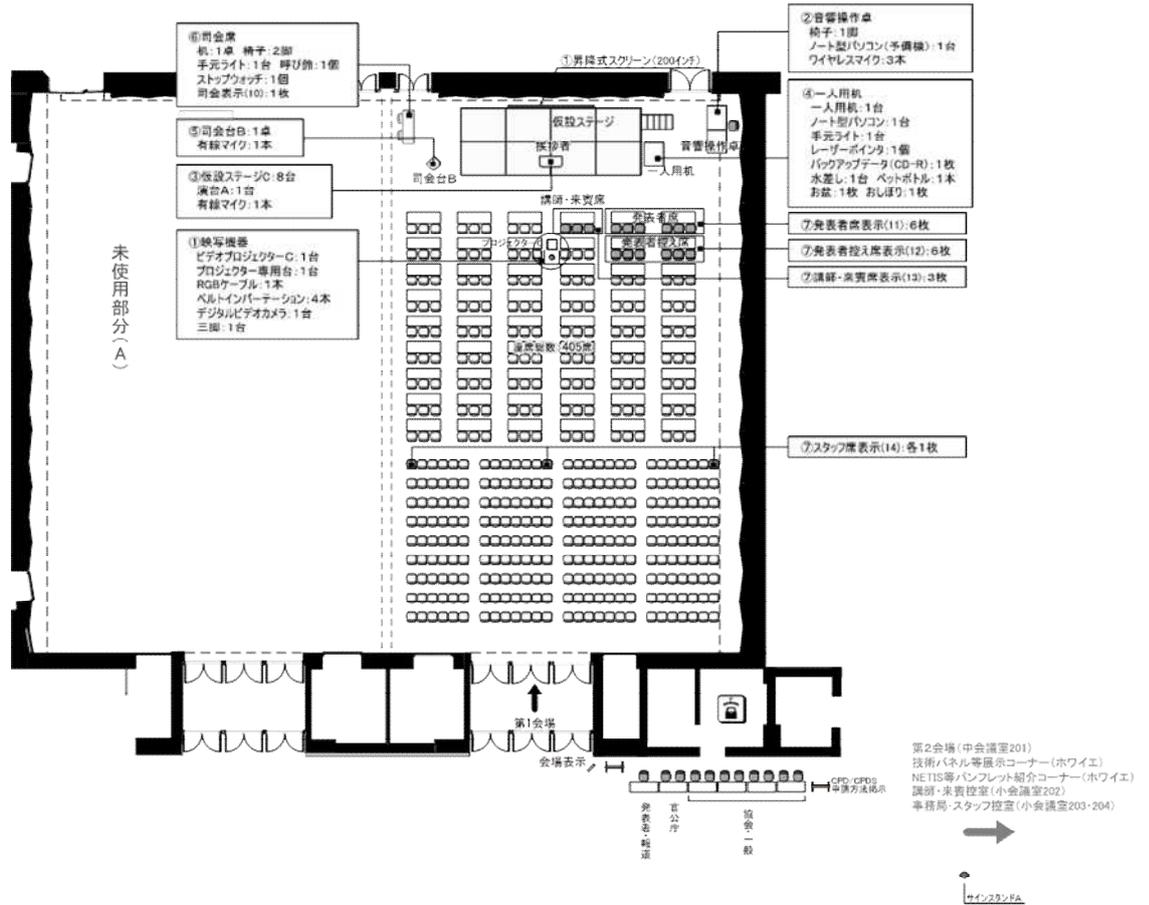
⑧設営状況



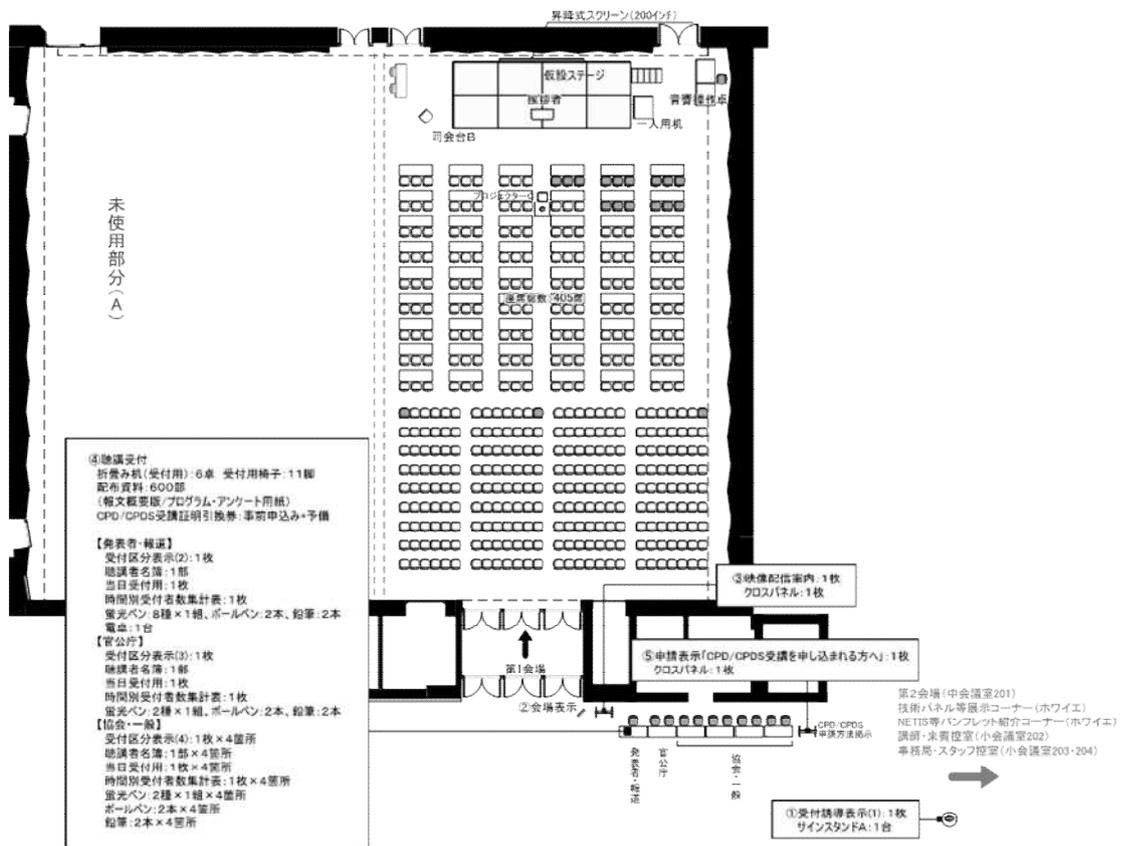
⑨聴講者質問状況

■会場詳細レイアウト図ー技術報告時ー

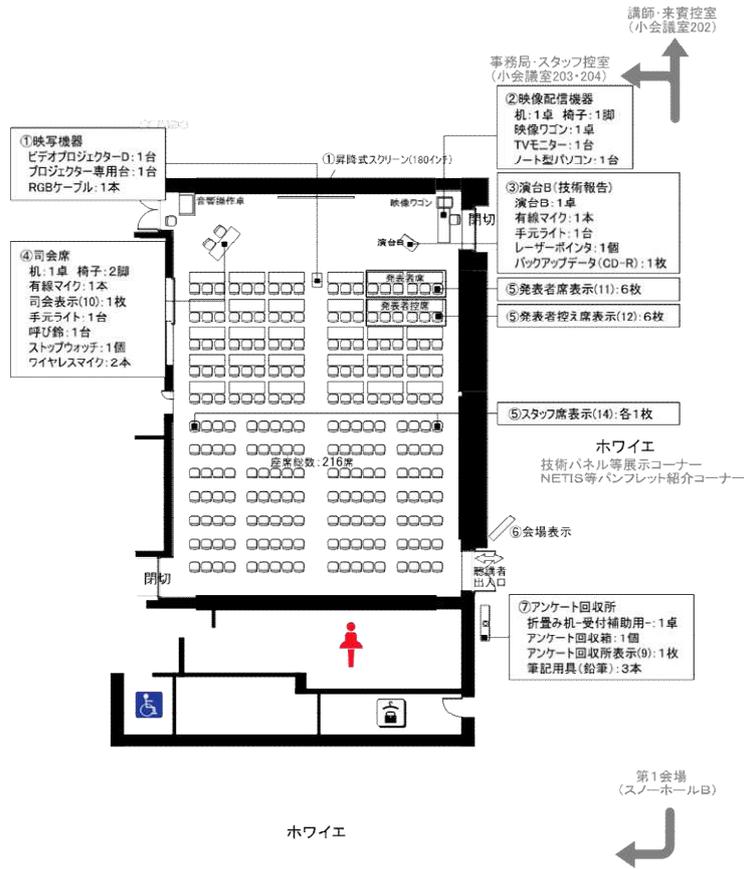
■第1会場：スノーホールB



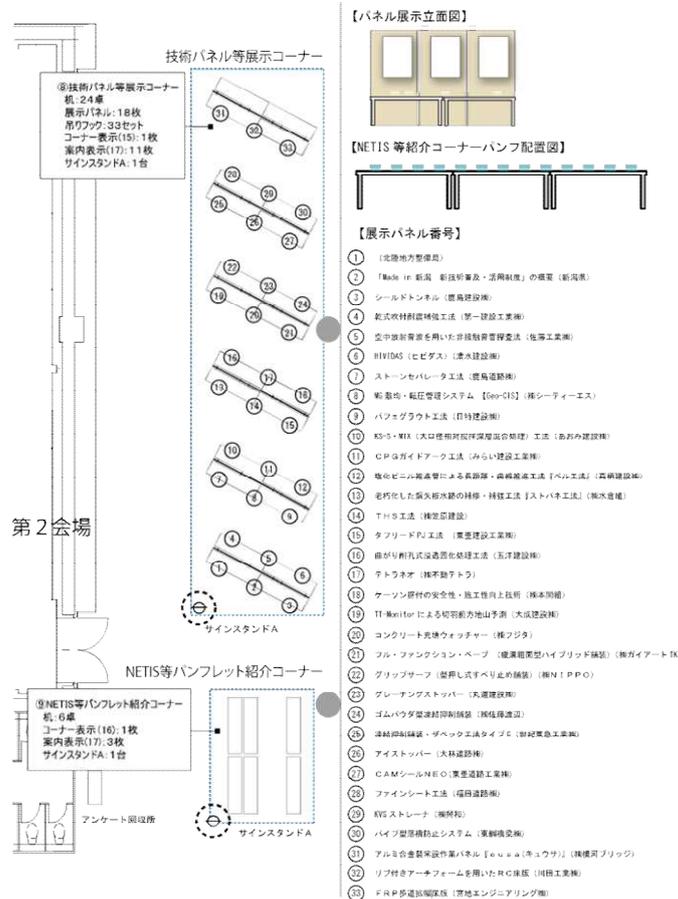
■第1会場前ホワイエ



■第2会場：中会議室201



■会場詳細レイアウト図ーパネル等展示コーナー



4. 広報

1) 広報活動

種別・内容	方法	時期	摘要
チラシ、ポスター配布	配布・募集	5月15日～7月29日	主催機関・団体
		7月9日～11月13日	主催機関・団体、近隣整備局、近県、新潟県内市町村、学校関係他
記者クラブ	記者発表	11月16日(月)	開催概要 プログラム
ホームページ	開設・運用	6月11日～(報告技術募集)	
		9月3日～(聴講募集)	
		適宜	

2) 広報等掲載一覧

■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
建設工業新聞	北陸工業新聞社	平成27年11月19日(木)
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成27年11月20日(金)
新潟建設新聞	日本工業経済新聞社	平成27年11月25日(水)
建設通信新聞	日刊建設通信新聞社	平成27年11月26日(木)

■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	10月号(聴講募集) 12月号(開催結果)
建設マネジメント技術	(一社)経済調査会	2月号(開催結果)

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
新潟県 技術管理課	バナー掲載
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部	「What's news」、「トップ(バナー掲載)」
(一社)新潟県建設業協会	「MEMBERS NEWS」
(一社)富山県建設業協会	「お知らせ」
(一社)石川県建設業協会	「トップ(バナー掲載)」
北陸土木コンクリート製品技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)新潟県融雪技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)北陸地域づくり協会	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ(バナー掲載)」
朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)	イベント情報

※引き続きHPでの広報にご協力をお願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

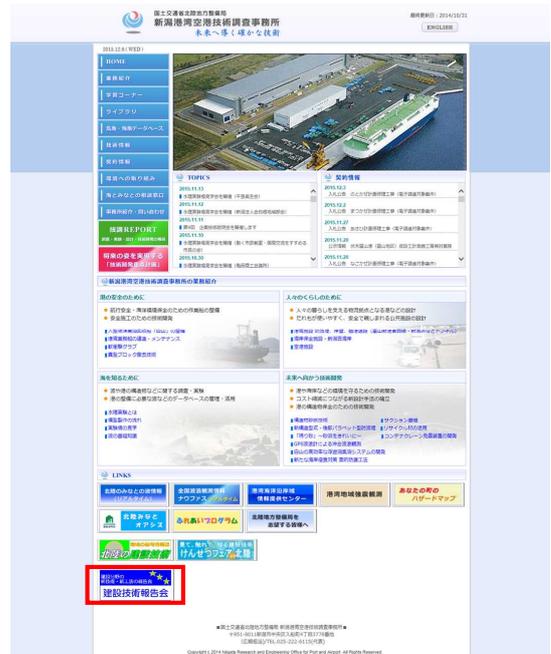
◆HP掲載事例（バナー掲載）



北陸技術事務所



北陸土木コンクリート製品技術協会



新潟港湾空港技術調査事務所



日本建設機械施工協会北陸支部



新潟県融雪技術協会



北陸地域づくり協会

5. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

1) 設問内容

北陸地方建設事業推進協議会
平成27年度「建設技術報告会」アンケート

建設技術報告会にご参加いただき誠にありがとうございます。
今後の参考とさせていただきますため、アンケート調査にご協力下さい。
※回答は、記述式の設問以外は該当する記号を○で囲んでください。

問1. 職業・職種をお聞かせ下さい。
A. 国土交通省職員 B. 県職員 C. 市町村職員 D. 公益企業職員
E. A～Dに属さない官公庁（機関名） F. 建設関連の会社（技術職）
G. 建設関連の会社（事務職） H. 建設関連の協会・団体 I. 学生（高校、高等、大学、専門学校）
J. その他（ ）。

問2. 主な仕事の分野をお聞かせ下さい。
A. 河川 B. 道路 C. 砂防 D. 港湾空港 E. 営繕
F. 上下水道 G. 共通（ ） H. その他（ ）。

問3. どちらから来られましたか。
A. 新潟市内 B. 新潟市を除く新潟県内（ ） C. 富山県
D. 石川県 E. その他（ ）。

問4. この報告会を何で知りましたか。
A. 協会・団体からの案内 B. ホームページ C. チラシ
D. 国土交通省・県・市からの案内 E. くちこみ F. その他（ ）。

問5. この報告会の参加回数をお聞かせ下さい。
A. 初めて B. 2～5回 C. 5～10回 D. 10回以上。

問6. 建設事業への新技術導入の必要性についてお聞かせ下さい。
A. 必要性を感じる B. 多少感じるが急務の問題ではない C. 特に問題意識はない。

問7. 上記の問6. で「A. 必要性を感じる」または「B. 多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方にお聞きします。どの分野に必要性を感じますか（複数回答可）。
A. 社会資本の的確な維持管理・更新・・・「パブリック・インフラ」技術、「維持管理費縮減や耐久性のある材料」等。
B. 雪に強い地域づくり・・・「災害対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等。
C. 良いものを安く・・・「生産性向上技術」、「コスト縮減技術」、「省力化技術」等。
D. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」等。
E. 環境の保全と創進・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等。
F. その他（ ）。

問8. 新技術導入の障害となっているものがあるとするば、それは何かお聞かせ下さい。
A. 経費的なもの B. 標準体系等制度的なもの C. 新技術に関する情報不足（工法選定 etc）
D. その他（ ）。

（裏面も記入をお願いします）

(表面)

問9. 今回の報告会を聴講して、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術、関心の高かった技術を選り抜いで3題まで選んでご記入下さい。
1. プログラム番号〔 〕
2. プログラム番号〔 〕
3. プログラム番号〔 〕

問10. 報告会の開催時期についてお聞かせ下さい。
A. 今の時期が良い B. その他（ 月頃）。

問11. 報告技術1題あたりの報告時間についてお聞かせ下さい。
A. 長い B. 適当 C. 短い。

問12. この報告会の開催についてお聞かせ下さい。
A. 今後も続けて欲しい B. 特に開催の必要性を感じない C. 内容を改善して続けて欲しい。

問13. 上記の問12. で「B. 特に開催の必要性を感じない」「C. 内容を改善して続けて欲しい」に○をされた方にお聞きします。理由またはどのような内容を望まれていますか。
[]
[]
[]

問14. 基調講演についてお聞かせ下さい。
A. 今後も続けて欲しい B. 特に必要ない C. 講演内容を改善して欲しい。

問15. 発表形式や会場設置についてお聞かせ下さい。
A. とても良かった B. 良かった C. あまり良くなかった
「C. あまり良くなかった」を選択された方（理由： ）。

問16. 新技術を紹介するパネル等展示コーナーについてお聞かせ下さい。
A. とても良かった B. 良かった C. あまり良くなかった
「C. あまり良くなかった」を選択された方（理由： ）。

問17. NETIS等パンフレット紹介コーナーについてお聞かせ下さい。
A. とても良かった B. 良かった C. あまり良くなかった
「C. あまり良くなかった」を選択された方（理由： ）。

問18. この報告会全体で感じたことや意見等ご自由にご記入下さい。
[]
[]
[]

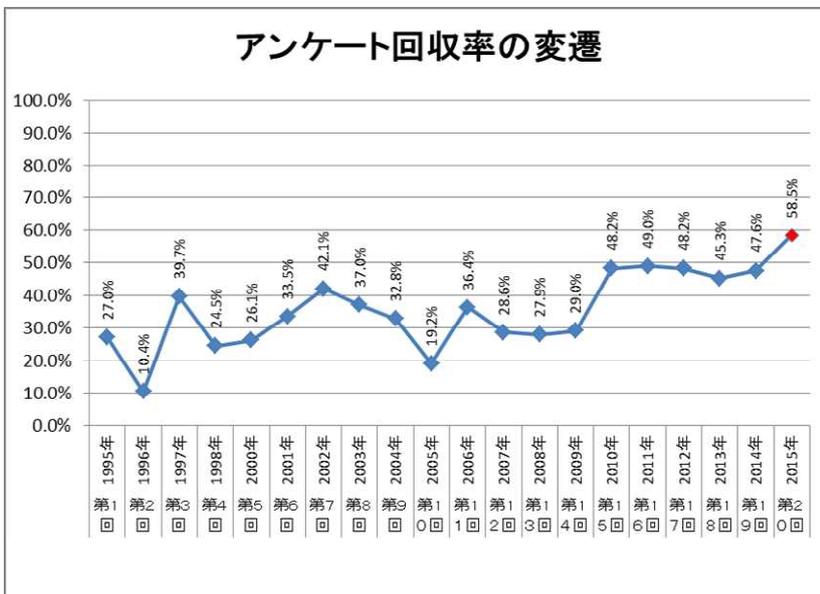
※ご協力ありがとうございました。この用紙はロビーに設置してありますアンケート回収箱に投函願います。
なお、後日回答のご協力を頂ける方は、以下のFAX番号に返信して下さい。
FAX: 025-231-1283

「平成27年度 建設技術報告会」実行委員会

(裏面)

2) 配布・回収

アンケートは受付時に聴講者に配布し、第1会場及び第2会場前ロビー（ホワイエ）に設置した回収箱により回収を行った。なお、アンケート回収率は以下のとおりである。

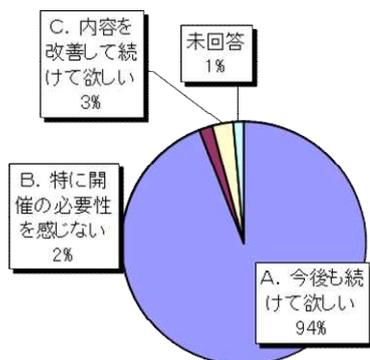


	官公庁	民間	計
配布数	77	410	487
回答数	43	242	285
回収率	56%	59%	58.5%
回答割合	15%	85%	100%

3) アンケート結果概要

○今後の報告会の開催について

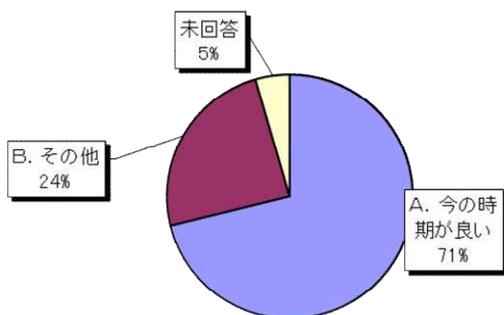
・約9割が、「今後も継続して欲しい」と回答



A. 今後も続けて欲しい	271
B. 特に開催の必要性を感じない	5
C. 内容を改善して続けて欲しい	8
未回答	4
	288

○報告会の開催時期について

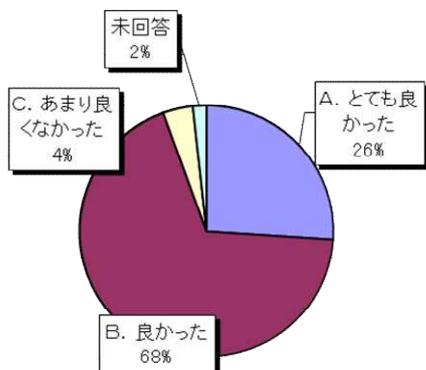
・8割が「今の時期が良い」と回答



A. 今の時期が良い	205
B. その他	70
未回答	13
	288

○報告会の報告形式や会場設営について

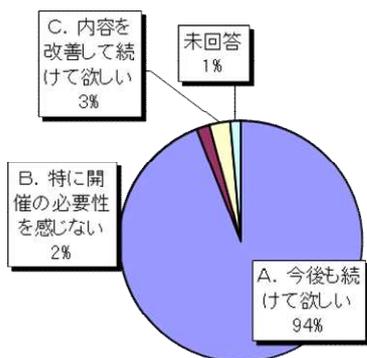
・9割が「とても良かった」「良かった」と回答



A. とても良かった	75
B. 良かった	197
C. あまり良くなかった	11
未回答	5
	288

○基調講演について

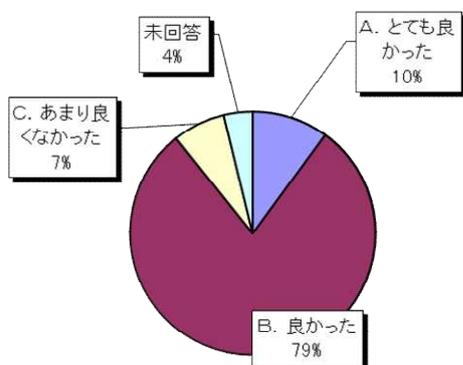
・約9割が「今後も続けて欲しい」と回答



A. 今後も続けて欲しい	271
B. 特に開催の必要性を感じない	5
C. 内容を改善して続けて欲しい	8
未回答	4
	288

○技術パネル等展示コーナーについて

・9割が「とても良かった」「良かった」と回答



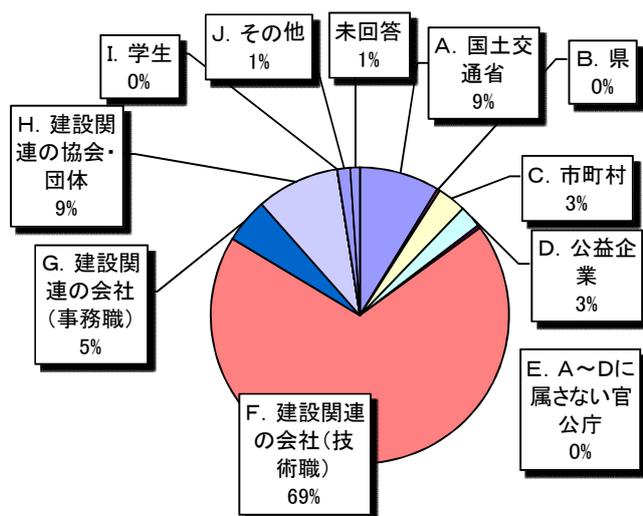
A. とても良かった	29
B. 良かった	228
C. あまり良くなかった	20
未回答	11
	288

○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見（今後の課題抜粋）

- ・こういった報告会を継続的に行うことは技術・知識の継続という意味からも重要であると思います。今後も継続をお願いします。
- ・無料で受講できるのはありがたい。今後も続けてほしい。
- ・同じような技術報告会が続いたので困った。
(北陸雪氷技術シンポジウム (11/16, 17) が開催された。)
- ・基調講演のパワーポイントは会場が広いとほとんど見えない。
- ・基調講演でも資料 (1枚紙程度) があればよかったかなと思います。
- ・発表に用いた OHP のデータを配布してほしい。
- ・発表内容が短時間により良く理解できなかったものがあった。
- ・聞き取りにくい発表者 (マイク不使用) に注意してもらいたい。

4) 設問別集計結果

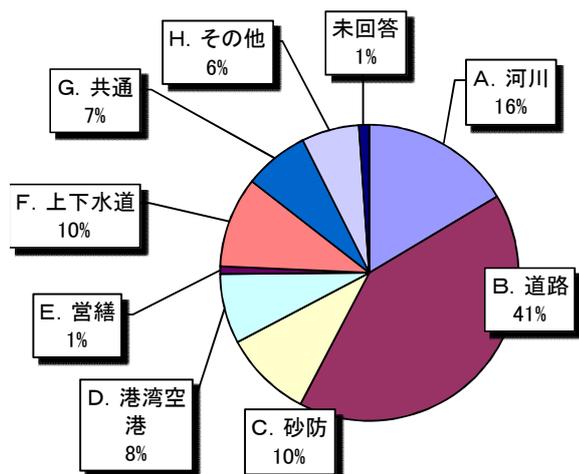
問1. 職業・職種をお聞かせ下さい。



A. 国土交通省	25
B. 県	1
C. 市町村	9
D. 公益企業	7
E. A～Dに属さない官公庁	1
F. 建設関連の会社(技術職)	198
G. 建設関連の会社(事務職)	14
H. 建設関連の協会・団体	26
I. 学生	0
J. その他	4
未回答	3
	288

- I. その他
- ・調査・測量(1)
 - ・コンサルタント(2)
 - ・高速道路関係(1)

問2. 主な仕事の分野をお聞かせ下さい。



【複数回答有】

A. 河川	58
B. 道路	146
C. 砂防	34
D. 港湾空港	27
E. 営繕	3
F. 上下水道	35
G. 共通	25
H. その他	22
未回答	4
	354

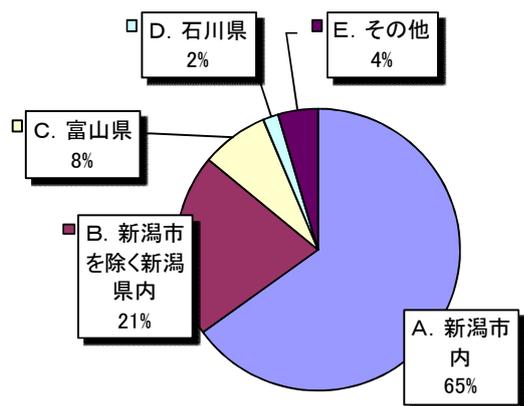
共通

- ・コンクリート(1)
- ・管理技術(1)
- ・計画(1)
- ・都市計画(1)
- ・施工(1)
- ・地質(1)
- ・河川道路(1)
- ・地質調査(1)
- ・その他(7)

その他

- ・地質調査(1)
- ・環境(1)
- ・ダム(1)
- ・トンネル(1)
- ・鉄道(2)
- ・橋梁(2)
- ・営業(1)
- ・災害(1)
- ・ゼネコン(1)
- ・技術開発(1)
- ・測量(1)
- ・コンサルタント(1)
- ・ICT関連(1)
- ・施設(1)
- ・その他(6)

問3. どちらから来られましたか。



A. 新潟市内	186
B. 新潟市を除く新潟県内	60
C. 富山県	22
D. 石川県	5
E. その他	13
	286

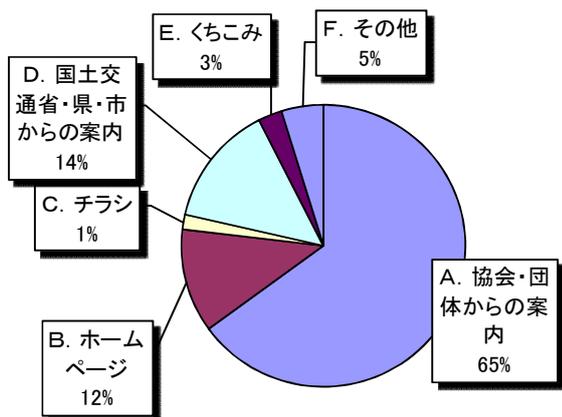
新潟市を除く新潟県内

- ・阿賀野市(3) ・新発田市(2) ・村上市(2)
- ・糸魚川市(4) ・上越市(5) ・湯沢町(2)
- ・加茂市(2) ・上越方面(2) ・その他(21)
- ・佐渡市(2) ・胎内市(1)
- ・三条市(2) ・十日町市(2)
- ・長岡市(8) ・妙高市(1)

その他

- ・東京(6) ・大阪(1)
- ・福島(2) ・千葉(1)
- ・その他(2)

問4. この報告会を何で知りましたか。



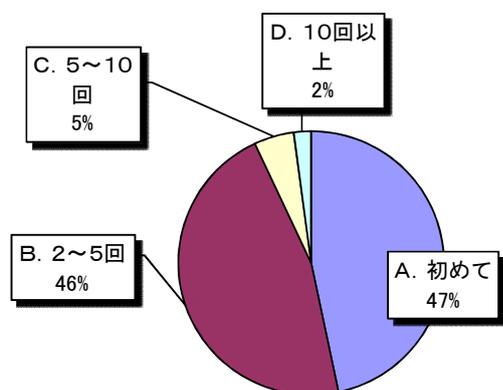
【複数回答有】

A. 協会・団体からの案内	191
B. ホームページ	35
C. チラシ	5
D. 国土交通省・県・市からの案内	41
E. くちこみ	8
F. その他	14
	294

その他

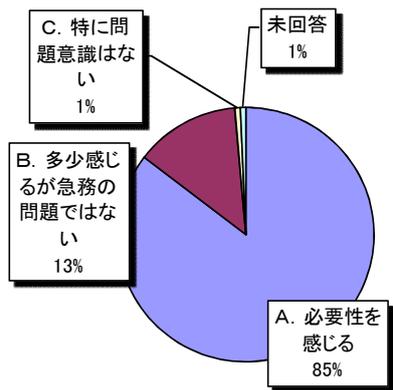
- ・会社(9)
- ・建設系CPD協議会ホームページ(1)
- ・CPDプログラム(1)
- ・JCM(1)
- ・省内情報(1)
- ・その他(1)

問5. この報告会の参加回数をお聞かせ下さい。



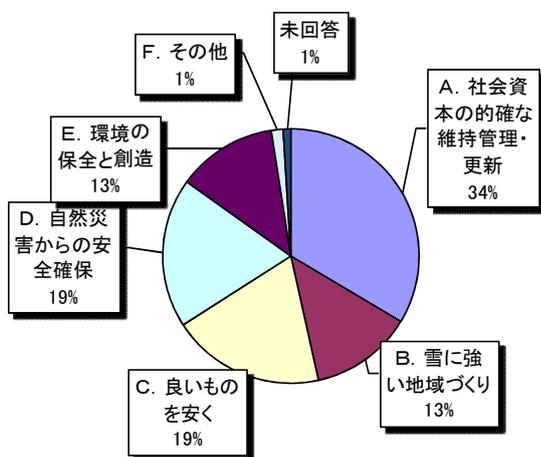
A. 初めて	134
B. 2～5回	133
C. 5～10回	14
D. 10回以上	6
	287

問6. 建設事業への新技術導入の必要性についてお聞かせ下さい。



A. 必要性を感じる	246
B. 多少感じるが急務の問題ではない	38
C. 特に問題意識はない	2
未回答	2
	288

問7. どの分野に必要性を感じますか。



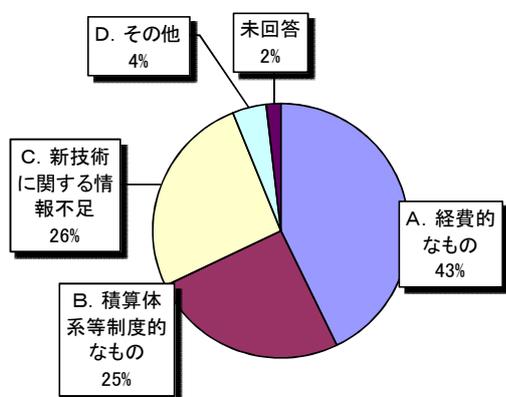
【複数回答有】

A. 社会資本の的確な維持管理・更新	205
B. 雪に強い地域づくり	79
C. 良いものを安く	118
D. 自然災害からの安全確保	116
E. 環境の保全と創造	77
F. その他	9
未回答	6
	610

その他

- ・若手技術者の確保のための魅力ある新技術
- ・人手不足に対応できる省力化技術
- ・継続的な社会基盤維持(人手不足、高齢化)
- ・若手技術者が不足する分野
- ・海外進出、国際競争力確保
- ・Co2削減(低炭素社会の実現)
- ・開発技術を紹介する場として必要
- ・安全性向上
- ・担い手不足の解消のため

問8. 新技術導入の障害となっているものがあるとすれば、それは何かお聞かせ下さい。



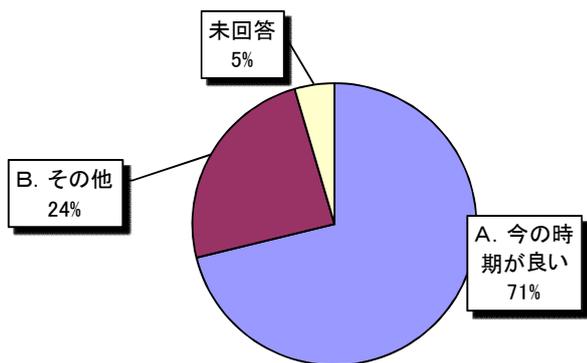
【複数回答有】

A. 経費的なもの	140
B. 積算体系等制度的なもの	82
C. 新技術に関する情報不足	85
D. その他	14
未回答	6
	327

その他

- ・信頼性
- ・実績、性能規定
- ・事例(実績)がない物に対する信頼性
- ・実績が導入の条件になる場合がある
- ・土木技術が経験則的なものが多いことも要因と考える
- ・コストと便宜の考え方
- ・新技術の現場適応性
- ・社会資本交付金事業採択・会計検査
- ・日本政府の方針が明らかにされていない為
- ・実績づくり
- ・新技術を研究する人手の不足
- ・活用した場合の評価点が少ない
- ・実績の蓄積
- ・実績による信頼度の評価が確立していると良いと感じた

問10. 報告会の開催時期についてお聞かせ下さい。

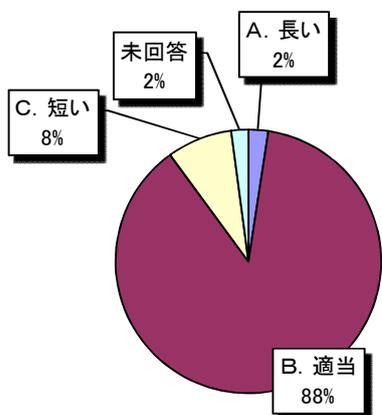


A. 今の時期が良い	205
B. その他	70
未回答	13
	288

その他

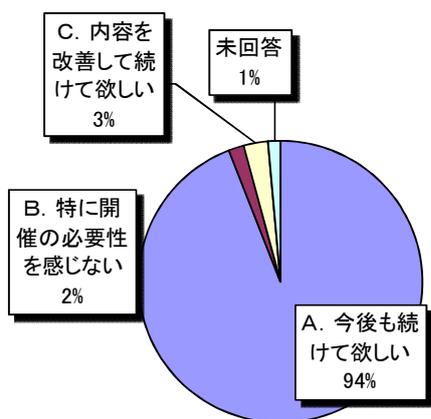
- ・1~2月(1) ・春、春先(2)
- ・4月(7)
- ・4~5月(1)
- ・5月(6)
- ・5~6月(5)
- ・6月(10)
- ・7月(4)
- ・8月(4)
- ・9月(12)
- ・9~10月(1)
- ・10月(13)

問11. 報告技術1題あたりの報告時間についてお聞かせ下さい。



A. 長い	7
B. 適当	253
C. 短い	23
未回答	6
	289

問12. この報告会の開催についてお聞かせ下さい。



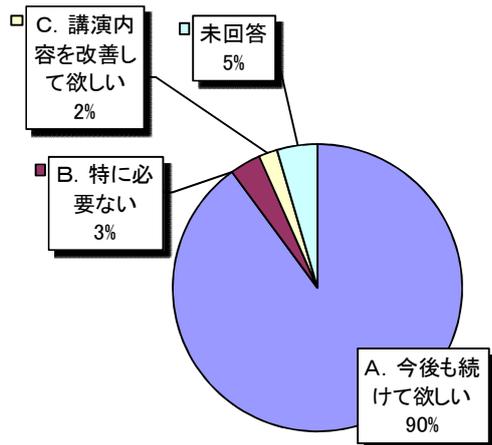
A. 今後も続けて欲しい	271
B. 特に開催の必要性を感じない	5
C. 内容を改善して続けて欲しい	8
未回答	4
	288

問13. 問12で「B」または「C」と答えた方にお聞きします。

理由またはどのような内容を望まれていますか。

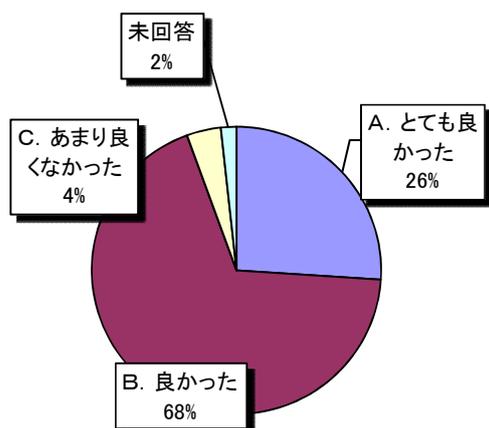
- ・知識の幅が広がる
 - ・興味のある発表が少ないから
 - ・このような報告会やシンポジウムが多数あり、内容も同じになっている為、見直しが必要なのではないか？
- 地整内で調整をお願いしたい
- ・発表内容がバラバラ。テーマを持った構成にしたらどうか。
 - ・発表会場を3つにして、多彩な発表を。
 - ・1日では短い、発表題数も多くしてほしい
 - ・分野の絞り込み、報告の選定

問14. 基調講演についてお聞かせ下さい。



A. 今後も続けて欲しい	259
B. 特に必要ない	10
C. 講演内容を改善して欲しい	6
未回答	13
	288

問15. 発表形式や会場設営についてお聞かせ下さい。

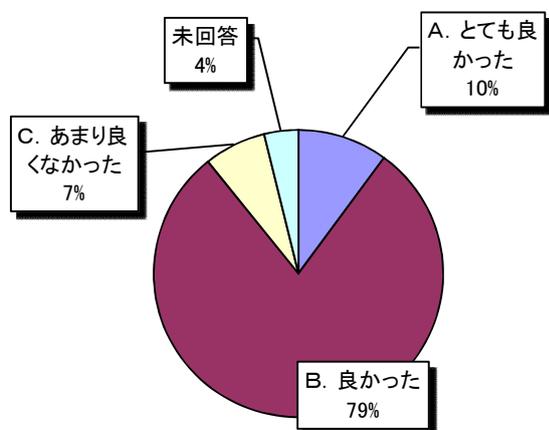


A. とても良かった	75
B. 良かった	197
C. あまり良くなかった	11
未回答	5
	288

Cの理由

- ・会場が駅から遠く、不便であった
- ・文字が小さく見えない
- ・受付場所スタンドが必要
- ・開会式前のスクリーンに会場尾案内図が必要
- ・午後の休憩時間が20分が1回でしたが、10分を2回が良いと思う
- ・駐車場の確保を願いたい
- ・受付の区別表示を分かりやすく高いところに提示
- ・第二会場ポインターが見えにくい
- ・第1会場と第2会場の議題のジャンル分けが統一されていない為会場を行ったり来たりした
- ・メモが書けるようにテーブルがあった方が良い

問16. 新技術を紹介するパネル展示コーナーについてお聞かせ下さい。

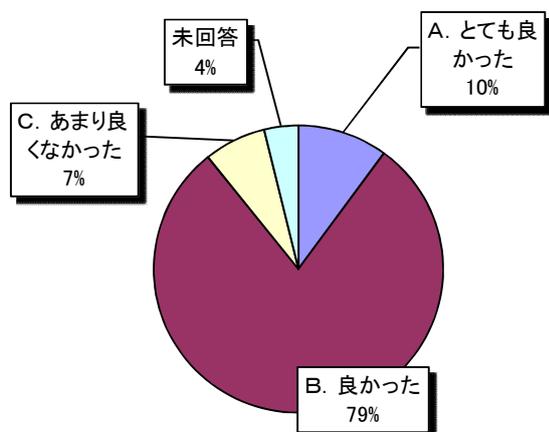


A. とても良かった	29
B. 良かった	228
C. あまり良くなかった	20
未回答	11
	288

Cの理由

- ・さみしい。1技術1パネルはかわいそう。
- ・通路奥なので見に行く気がない。もっと人通りの多いところに配置されてはどうか。
- ・少ない(3)
- ・聞きたくても説明者がいない(同様意見他3)
- ・せまい(2)
- ・地味だから
- ・ポスター程度
- ・説明に足りるスペースがない。資料が限定的(パネルだけ)
- ・コーナー紹介方法に工夫が必要と思う。
- ・土木系に特化している

問17. NETIS等パンフレット紹介コーナーについてお聞かせ下さい。



A. とても良かった	29
B. 良かった	225
C. あまり良くなかった	16
未回答	18
	288

Cの理由

- ・さみしい。ブース等があった方が良いのでは。
- ・数が少ないと思う(同様意見他5)
- ・聞きたくても説明者がいない(2)
- ・置きっぱなしである
- ・興味ある技術がなかったから
- ・パンフレットだけならどこにでもある

問18. この報告会全体で感じたことや意見等ご自由にご記入下さい。

- ・フェアーは行わないのですか？併せて行った方がにぎやかで良いのでは。
- ・毎年テーマをしぼって開催(発表)を行ってはどうか？
- ・専門外の技術でも非常に興味深く聴講出来、有意義な1日だった。
- ・港湾やトンネルなど担当していない分野の技術を聞ける少ない機会です。貴重でした。
- ・基調講演のパワーポイントは会場が広いとほとんど見えない
- ・発表に用いたOHPのデータを配布してほしい
- ・発表に対し、もう少し質問が出やすい雰囲気があればと感じました。
- ・映像表示でうまくいかず、プレゼンが不十分だったのは残念でした…PC or プロジェクタ？
- ・基調講演でも資料(1枚紙程度)があればよかったです。
- ・聞き取りにくい発表者(マイク不使用)に注意してもらいたい
- ・受付開始をもっと早くされたい。
- ・発表者のマイクが入力されていないのに、司会者をはじめ誰も手助けせず、せっかくの発表が大変に聞き取りづらかった(第2会場第三・IVグループ2~3人あった)
- ・プレゼン発表データの提出締切が速すぎるためか、発表内容に充実感がない
- ・もっと広く一般の人にも参加できるようにすればどうでしょうか
- ・基調講演の会場がせまい。立席が発生した。
- ・2会場で興味深いテーマが同時になり、残念であった。
- ・これまで以上に報告会が開催されることをアピールしたほうが良いと思う(せっかく開催するのであれば)
- ・もう少し一般の方にもPRすべき 学生、大学、高校
- ・多数の参加者有、有意義であった
- ・北陸は東京・名古屋での大規模開催のものに参加すると良いと思う。ターゲットを雪や地元企業にしぼった方が良いと思います。
- ・HP等で公開してほしい。
- ・同じ日に2つの会場で行うのではなく、2日間で行ったほうが多く聞けて良いと思う
- ・基調講演での質疑応答の時間がほとんどなく残念であった(残り30秒では質問しにくかった)。又、質問がない場合は、司会者が何か質問を用意しておくべきだと感じた。
- ・質問者の所属氏名必要
- ・発表グループ分けの必要性不明
- ・机、いす等の配列・間隔もよく、人の退室入室もあまり気にならなかった
- ・11月18日の土木の日にこのような建設技術報告会を行うことは、「土木」を考える、見つめなおす等、とても意義深いイベントだと思いますので、是非来年以降も土木の日にこだわった開催を希望します。
- ・技術分野が非常に多岐に渡るため、質問が出にくいと感じました。いくつか分野を限定する、分ける(例、道路、維持管理、施工、計測など)などすれば良いのではないのでしょうか。
- ・色々な発表があり、勉強になりました。来年も来たいと思います。維持管理の良いもの、既存構造物の延命の工夫等をもっと聞きたい。
- ・こういった報告会を継続的に行うことは技術・知識の継続という意味からも重要であると思います。今後も継続をお願いします。
- ・発注者側からの質問がもっと望ましい！
- ・1日中第1会場にいましたが、とにかく寒かった。
- ・同じような技術報告会が続いたので困った。(北陸雪氷技術シンポジウム(11/16,17)が開催された。)
- ・技術報告会の報告内容が全体的にまとまって良かった。
- ・受付開始が30分前では遅い。もっと早くしてほしい。
- ・ソフト関連もあってよかったのではないのでしょうか
- ・数少なくとも良いから1つのことに時間をかけて詳しくしてほしい
- ・2回に分けて行っていただきたい。半分聞けない為。
- ・今後も継続して開催してほしい。技術者育成のためにも！
- ・最新の施術情報を収集でき、勉強になりました。
- ・無料で受講できるのはありがたい。今後も続けてほしい。
- ・発表内容が短時間により良く理解できなかったものがあつた。